

科目名	ダンスⅥ							年度	2025
英語科目名	Vocal Ⅵ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	丸澤英由子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		バレエダンサー		
【科目の目的】									
ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ（ジャイロキネシスメソッド）を取り入れる。その後クラシックバレエの基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。バレエバーを使用したバーレッスンでは脚の動きを中心として基礎的な動きを繰り返しながらステップアップしていく。後半はバーを持たずに移動や身体の方角の変化を取り入れる。									
【科目の概要】									
クラシックバレエを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。									
【到達目標】									
クラシックバレエの基礎レベル以上の技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを卒業公演のダンスシーンやオーディション活動に活かす。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かす体力の強化の必要性や重要性を認識し、生涯的に継続してトレーニングする意欲に繋がることを目標としている。									
【授業の注意点】									
多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい			レベル3 ふつう			
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる		挨拶することができる			挨拶することが全くない			
到達目標 B	課題内容を理解し踊ることができる		課題を踊ることができる			課題を踊ることができない			
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない			遅刻・欠席が多い			
【教科書】									
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

